



とくべつしえん学校の友だち

町内小学生

私は、しえん学校に近づくたびにドキドキします。なぜドキドキするかというと、いやなことや、相手をきずつけないかと不安だったからです。

さかを上がると、しえん学校が見えました。先生の話が終わると、いよいよしえん学校に入ります。入ったらきんちょうして、リーダーに、ついて行くのがやっとなりました。しえん学校の先生がお出むかえしてくれて、その後にしえん学校のことや、どんな子がいるのか、どんなところなのかを教えてくださいました。学校たんけんをして体育館につきました。体育館でまわっていると、車イスののっている子や、まっばえをついている子がたくさんあつまってきたりして始めの会が始まりました。ここでは、しゃべることがむずかしい子がタブレットを使って、始めの言葉伝えていました。

その後、グループに分かれてやりゆうがありました。私たちのグループはイス取りゲームと、しりとりをしました。さいしよは、おたがいきんちょうして、あまりお話しできなかったけど、さいごのころは、私たちもしえん学校の子たちも、笑顔になっていました。ドキドキときんちょうがなくなってきたころ、もう帰る時間になってしまいました。少しさみしくなりましたが、学校に帰って来ました。教室のイスにすわって思いました。

しえん学校の子たちは、手や足が動かなくても、言葉や声が

出なくても、自分の出来ることは、自分でして、いやだったり、うれしかったりすることを表しようや、身ぶり手ぶりなどの方法で表げん出来るということを学び、すごいなと思いました。次のやりゆうでは、今回のやりゆうよりも、もつとみんな楽しんで、やりゆうにしたいです。

※一部原文を修正しています。

